

## 鯖江市公式ホームページ「やさしい日本語」自動変換機能導入業務仕様書

(目的)

第1条 本仕様書は、鯖江市公式ホームページ（以下「本サイト」という。）において、在留外国人、高齢者、障がいのある方、子どもを含む多様な利用者が、日本語で行政情報を理解しやすい環境を整備するため、「やさしい日本語」自動変換機能（以下「本機能」という。）を導入するにあたり、必要な機能要件、非機能要件、品質要件、運用要件およびセキュリティ要件を定めるものである。

(定義)

第2条 本仕様における「やさしい日本語」とは、短文構造、結論先出し、語彙制限、分かち書き、漢字へのふりがな付与、曖昧表現の回避等を基本とし、国の「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」および同「研修のための手引」に準拠する表記方法をいう。

2 生成AIを利用する場合は、原文の意味を変更しない範囲で言い換えを行うものとし、推測補完または情報追加を行ってはならない。

(基本方針)

第3条 本機能は、次の方針に基づき設計・構築する。

- (1) ワンクリックでページ全体を同一URL上で表示切替できること。
- (2) 視覚的構造（見出し階層、段落、箇条書き等）を保持すること。
- (3) 公開情報のみを処理対象とすること。
- (4) JIS X 8341-3:2016 に整合し、AA準拠を目標とすること。
- (5) 自治体固有語の辞書登録・除外設定が可能であること。

(導入対象範囲)

第4条 本サイト配下のHTMLページを対象とする。

2 PDFおよびWord文書については、テキスト抽出が可能な文書に限り対象とする。画像化された文書は対象外とする。

(機能要件)

第5条 受託者は、次の機能を実装する。

- (1) 語彙簡略化および短文化
- (2) 分かち書き処理
- (3) Web ページへの自動ルビ追加機能
- (4) 括弧書きによる語句補足説明
- (5) 変換後も文書構造を保持する機能
- (6) 辞書登録・除外語設定（CSV形式で入出力可能）
- (7) 変換ログおよび利用統計の管理機能

(性能要件)

第6条 初回変換時の平均応答時間は概ね3秒以内（ネットワーク遅延を除く）とする。

2 月間想定PVに応じた自動スケールが可能であること。

3 月間稼働率99%以上を確保すること。

(セキュリティ要件)

第7条 利用者入力データを外部A Iの再学習に利用しないこと。

2 変換処理は国内データセンターまたは同等水準の情報セキュリティ基準を満たす環境で実施すること。

3 I SMS等の認証を取得していること、または同等の管理体制を証明すること。

4 通信はTLS1.2以上で暗号化すること。

(データ帰属および可搬性)

第8条 辞書データ、変換ログおよび統計情報は、本市に帰属する。

2 契約終了時、本市が指定する形式で無償エクスポート可能であること。

3 特定事業者への恒久的依存が生じない構成とすること。

(保守・改善)

第9条 庁内担当者が辞書更新および除外語設定を行えること。

2 利用状況分析レポートを出力できること。

3 国のガイドライン改訂時は無償で追従対応を行うこと。

(導入前検証)

第10条 本市指定の原文サンプルを用いて事前検証を実施すること。

2 想定誤変換例および辞書除外提案を提出すること。

(提案書記載事項)

第11条 提案者は、次を明示すること。

(1) 変換技術の概要(生成A I利用有無を含む)

(2) 意味改変防止の制御方法

(3) セキュリティ設計

(4) 他自治体導入実績

(5) 保守体制